

令和5年度 岩見沢市学校・地域元気アップ支援事業の活動状況

1 岩見沢市学校・地域元気アップ支援事業の概要

岩見沢市教育委員会では、平成20年度に文部科学省の補助を受け、地域人材等を活用した学校支援事業をスタートさせ、平成23年度からは名称を「岩見沢市学校・地域元気アップ支援事業」と改め事業を継続しているところです。現在、同事業に登録するボランティアは、新旧の交代を行いつつも200名程度のメンバーを維持している状況です。

2 岩見沢市学校・地域元気アップ支援事業運営委員会の開催

本事業を進めるに当たっては、その運営方法などを検討するために、学校、PTA連合会、商工・青年会議所の代表者などを構成員とした同事業運営委員会を設置し、事業の企画・検証・評価などを行います（年2回程度実施）。

(1) 第1回岩見沢市学校・地域元気アップ支援事業運営委員会

- ・期日 令和5年5月9日（火）
- ・場所 であえ～る岩見沢4階 会議室1
- ・議事 令和4年度の成果・課題の確認、令和5年度事業計画の承認、人材登録一覧の周知など

(2) 第2回岩見沢市学校・地域元気アップ支援事業運営委員会

- ・期日 令和6年2月20日（火）
- ・場所 であえ～る岩見沢4階 会議室1
- ・議事 令和5年度の経過報告及び事業報告、事業実施に伴う成果・課題の確認など

3 普及・啓発、広報活動の推進

- (1) 市内全小・中学校に対し「学校支援だより（学校用）」を発行し活動の様子等を紹介
- (2) 各町内会に対し「学校支援だより（市民用）」を発行し活動の様子等を紹介
- (3) PTA会員に対し「ボランティア募集リーフレット」を配布・啓発
- (4) 各町内会に対し「ボランティア募集リーフレット」を回覧・周知
- (5) 市広報6月号にボランティア募集の記事を掲載
- (6) 市のホームページにボランティア支援事業の活動状況を掲載

4 地域コーディネーターの配置

岩見沢市教育委員会職員1名を「地域コーディネーター」として配置し、事業を推進しています。

5 学校支援活動の実際

- (1) 学習支援活動（水泳・スキー学習、柔・剣道指導、書写指導、家庭科ミシン実習、栽培活動など）

① 水泳学習

◇ 令和5年度は、市内すべての小学校の全121回の水泳授業に対して、10名のボランティアを延べ156回派遣しました。

5月上旬から10月下旬まで、長期にわたる支援活動となりましたが、岩見沢市水泳協会の皆様や地域ボランティアの方々の協力を得ながら、安全で楽しい水泳授業を実施することができました。



北村プール（北村小）

② スキー学習

◇ 令和5年度は、市内全ての小・中学校の全115回のスキー授業に対して、スキーの有資格指導者を中心に計115回、延べ231名のボランティアを派遣しました。

北国の厳しい冬を楽しく乗り切るためのツールの一つとして、子どもたちがスキーの技術を身に付けることは大切であり、これを支えるボランティアの役割は益々重要となっています。



萩の山スキー場（幌向小）

③ ミシンの指導



志文小

◇ 小学校の高学年や中学校では、ミシンを使った学習を行っており、令和5年度は、市内小・中学校11校に対して、11名のボランティアを延べ99回派遣しました。

ボランティアの方々には、学校との事前打合せやミシンの調整段階から様々なアドバイスをいただくとともに、支援当日には子どもたち一人一人に寄り添った丁寧なご指導をいただき、学習効果を高めることができました。

④ さつまいも栽培活動



北真小・植え付け

◇ さつまいもの栽培活動は、例年、市内在住の江藤勲さんのご協力のもと、出身地の熊本県からさつまいもの苗を直接取り寄せていただき実施しています。

令和5年度は、市内小・中学校10校で取り組みました。例年、大きなさつまいも

を収穫して、満面の笑みを浮かべる子どもたちの姿がとても印象的で、子どもたちにとって大変有意義な教育活動となっています。

ご指導いただいている江藤先生、お世話になっている熊本の皆様への感謝の気持ちを忘れずに、活動の継続に努めていきたいと思えます。



メープル小・収穫

⑤ 柔・剣道指導



◇ 令和5年度は、市内4中学校の全ての柔道授業(全46回)に対し3名のボランティアを、栗沢中学校の全ての剣道授業(全10回)に対し2名のボランティアをそれぞれ派遣しました。

子どもたちは、安全に楽しく学びながら、武道の特性に触れる貴重な体験を積むことができました。



⑥ 放課後・長期休業中の学習支援



◇ 令和5年度は、市内小・中学校15校の全109回の放課後・長期休業中・テスト期間中の補足的な学習教室に対して延べ342名のボランティアを派遣しました。

地域住民のボランティアに加えて、多くの中・高校生や大学生のボランティアが支援に当たり、活動を支援してくださいました。



⑦ 学校の安全確保に対する支援(登下校時の交通安全・防犯に係る見守り、巡回指導等)

◇ 各学校においては、PTAや町内会、地域育成会などと連携し、登・下校時における交通安全・防犯に係る見守りや巡回指導等を行っています。令和5年度は、市内全域で述べ2,485名のボランティアの方々が、子どもの安全を見守る活動に参加しています。

⑧ 学校の環境整備や学校行事への支援(運動会・体育大会、学芸会・学校祭等への協力)

◇ 各学校においては、花壇の整備や校舎内の清掃、運動会・体育大会や学芸会・学校祭への運営協力など、PTAを中心に多くの方々がボランティアとして活動しています。中には、地元の建設会社の協力を得て、グラウンド整備やスキー学習のための雪山作りを行っている学校も見られました。

⑨ その他の支援活動(ダンス・書道学習・体力測定支援、茶・華道体験など)

◇ 本元気アップ支援事業では、さらに各学校のニーズに応じてダンス指導、書道学習支援、体力測定補助、読み聞かせ、茶・華道体験などに対する支援を行っています。

ボランティア講師の専門的な技術やパフォーマンス、引き継がれる伝統・文化のよさに触れて、子どもたちは「本物から学ぶ」喜びや感動を得るとともに意欲をもって学ぶことで、自らの可能性を広げる体験を積んでいました。



(2) 支援事業の満足度指標に対する評価

※ 1～不満足 2～やや不満足 3～ほぼ満足 4～十分満足 の4段階で評価

① 専門性に関する評価

◇ 支援ボランティアの専門的な指導により、児童生徒の興味・関心が高まり主体的・意欲的な授業の展開につながった。

◎十分満足～22校(96%) ○ほぼ満足～1校(4%)

② 安全性に関する評価

◇ 支援ボランティアを含めた複数の指導者による、きめ細やかな指導体制のもと、安全で充実した授業の展開につながった。

◎十分満足～21校(91%) ○ほぼ満足～2校(9%)

③ 豊かな心の育成に関する評価

◇ 支援ボランティアとの交流や感謝の気持ちを伝える活動を通し相互の信頼関係が醸成され、児童生徒の豊かな心の育成につながった。

◎十分満足～19校(83%) ○ほぼ満足～4校(17%)

④ 保護者・地域との連携強化に関する評価

◇ 地域人材・保護者と学校・教職員との相互理解・連携が深まり、地域・保護者・学校が一体となった教育活動の推進につながった。

◎十分満足～20校(87%) ○ほぼ満足～3校(13%)

(3) 令和5年度の活動実施状況

活動日数（延べ） 1,542 日

ボランティア参加人数(延べ) 7,722 人

◆登下校安全指導	158日
◆放課後・長期休業中の学習支援	110日
◆校内清掃等の支援	30日
◆部活動指導の支援	184日
◆学校行事等の運営支援	65日
◆進路・キャリア教育支援	29日
◆教科等への支援（水泳・スキー等）	543日
◆スポーツ体験活動支援	39日
◆文化・芸術体験支援	66日
◆その他の支援	318日

◆保護者・PTA	2,894人
◆地域住民等	3,835人
◆学生ボランティア	346人
◆団体・企業等	409人
◆その他のボランティア	238人